

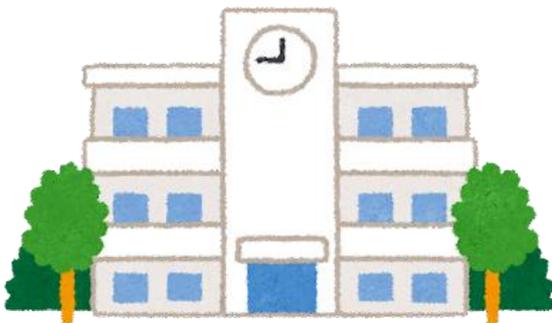
令和7年度
学校評価アンケート結果
(令和8年1月実施)



教職員アンケート

生徒アンケート

保護者アンケート



鹿児島県立鹿児島南高等学校

目 次

	ページ
・ 令和7年度学校評価アンケートについて	1
1 教職員アンケート調査の分析と今後の対策	2
2 生徒アンケート調査の分析と今後の対策	3
学科別・学年別調査結果	4
結果分析と今後の対策	5～6
3 保護者アンケート調査の分析と今後の対策	7

令和7年度学校評価アンケートについて

1 目的

学校経営方針や教育活動全般に対する意識やニーズ等を把握し、学校運営の改善方向を探るとともに、その成果を把握し、鹿児島南高等学校の教育活動を更に充実・発展させる目的でアンケート調査を実施する。

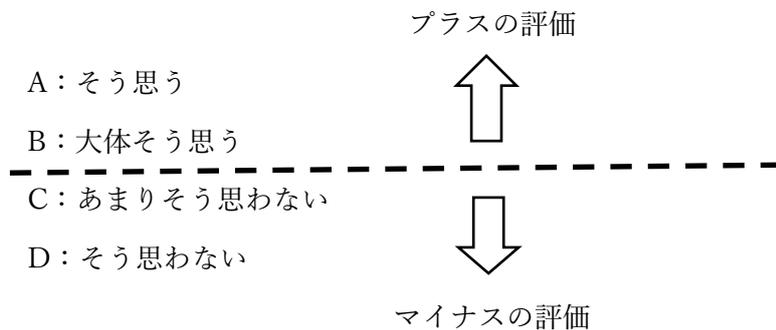
2 実施日

令和8年1月8日(木)～16日(金)

3 回収サンプル数

- (1) 教職員： 68人 (100%)
- (2) 生徒： 641人 (68.6%)
- (3) 保護者： 747人 (79.9%)

4 評価基準



1 教職員アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 調査結果

No.	評価の観点（具体的な評価項目）	プラスの評価	A	B	C	D	前年度プラスの評価
			そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
1	担当する校務を工夫・改善し、遂行できた。	91%	28	34	6	0	95%
			41%	50%	9%	0%	
2	SHRや終礼など機会あるごとに、生きていることや学ぶことの意義など人生を豊かにする話を生徒にしている。	91%	24	38	6	0	91%
			35%	56%	9%	0%	
3	学習と部活動が両立できるように学習時間の確保を配慮し、的確な学習指導を行っている。	94%	25	38	3	1	95%
			37%	57%	4%	1%	
4	生徒に将来の目標を掲げさせ、その実現に向け努力させている。	94%	20	44	4	0	96%
			29%	65%	6%	0%	
5	保護者や生徒に、進路に関する必要な情報をきちんと提供している。	88%	14	45	8	0	95%
			21%	67%	12%	0%	
6	分かりやすい授業を心がけ、基礎・基本をしっかりと定着させる指導を行っている。	99%	28	39	1	0	100%
			41%	57%	1%	0%	
7	課題の量は適切であり、きちんと提出させている。	97%	29	36	2	0	100%
			43%	54%	3%	0%	
8	諸機会を通じて生徒の情報等を収集し、指導に生かしている。	93%	23	39	5	0	98%
			34%	58%	7%	0%	
9	自らの教科指導力を高めるための教材研究や指導方法改善に取り組んでいる。	94%	30	34	3	1	96%
			44%	50%	4%	1%	
10	頭髪や服装、挨拶などの礼儀指導や清掃指導に日々取り組んでいる。	97%	31	35	2	0	98%
			46%	51%	3%	0%	
11	いじめや不登校等について十分注意を払い、的確に対応している。	100%	33	35	0	0	98%
			49%	51%	0%	0%	
12	休み時間や放課後など、生徒がいつでも気軽に悩みが相談できるような関係づくりに努めている。	96%	29	36	3	0	98%
			43%	53%	4%	0%	
13	自分の教師力を高めるための自己啓発に努めている。	90%	25	36	6	1	93%
			37%	53%	9%	1%	
		94.1%					96.5%

(2) 結果分析と今後の対策

- ア 「11 いじめ・不登校対応について」は教職員全員が高い意識で取り組めており、週1回の「心の健康観察」等をとおして組織的な対応が機能している。
- イ 「6 分かりやすい授業・基礎定着」は肯定率 99%。昨年度（100%）からもほぼ維持されている。しかし、一方で「13 自己啓発について」は教師力を高めるための時間が確保できていない、あるいは研修の機会が十分でないという可能性が考えられる。多忙により質の高い準備や学びの時間が削られている恐れがあるため、行事の精選や特定の教員に業務が偏らないよう、校務分掌の役割分担を再評価し編成を行う必要がある。
- ウ 「10 生活規律・礼儀指導について」は頭髪や服装、挨拶指導などが徹底されている。
- エ 「1 業務改善について」は、昨年より 4pt 下がり多忙感が解消されていない可能性が考えられる。
- オ 「5 進路情報の提供について」は全ての項目の中で最も低く、昨年度比でも 7pt 下がっている。職員会議で情報共有し、デジタルツール等の活用をするなど対策が必要である。

2 生徒アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 全体調査結果

I (学校や授業に関すること)

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	前年度プラスの評価
1	充実した高校生活となるように様々な行事がある。	92%	220 34%	370 57%	48 7%	6 1%	89%
2	一人一人の進路希望に応じた進路指導に取り組んでいる。	92%	209 32%	386 60%	39 6%	10 2%	90%
3	就職や進学に関する様々な進路情報が提供されている。	88%	230 36%	335 52%	68 11%	11 2%	89%
4	交通安全や通学マナーの指導に積極的に取り組んでいる。	95%	343 53%	267 41%	30 5%	4 1%	97%
5	生徒の様々な悩みに親身になって相談にのってくれる。	87%	192 30%	366 57%	72 11%	14 2%	79%
6	いじめや不登校に積極的に対処しようとしている。	83%	191 30%	344 54%	92 14%	15 2%	80%
7	校則や学校のきまりは適切である。	47%	63 10%	240 37%	187 29%	154 24%	36%
8	授業内容を理解させるために、プリント作成等工夫している。	89%	200 31%	369 58%	58 9%	13 2%	87%
9	分かりやすい授業であり、かつ学力を伸ばしてくれる授業である。	86%	143 22%	411 64%	71 11%	18 3%	83%
10	日々の学習課題は学力を伸ばすのに適切な量である。	78%	159 25%	341 53%	98 15%	45 7%	75%
11	授業のレベルは適切で、授業の進み具合も適切である。	87%	171 27%	391 61%	67 10%	15 2%	86%
12	様々な活動において生徒の健康・衛生や安全に配慮している。	96%	259 40%	357 55%	24 4%	4 1%	92%
13	校内の施設や環境が整備されている。	95%	344 53%	270 42%	23 4%	6 1%	97%
14	部活動と勉強の両立が図れるように学習時間が確保されている。	80%	153 24%	359 56%	105 16%	24 4%	74%
15	部活動の活性化を目指して取り組んでいる。	95%	326 51%	279 44%	21 3%	13 2%	93%

II (自分自身に関すること)

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	プラスの評価
1	生徒会活動やホームルーム活動、学校行事等に積極的に参加している。	91%	248 39%	334 52%	52 8%	9 1%	92%
2	授業は予習を十分にして受けている。	40%	67 10%	190 30%	267 42%	119 19%	49%
3	授業態度は真剣で、集中して受けている。	93%	241 37%	355 55%	41 6%	6 1%	92%
4	定期考査や課題実力考査の対策のために復習にしっかり取り組んでいる。	81%	179 28%	339 53%	104 16%	21 3%	79%
5	学習の計画を立てて、宅習時間を十分確保している。	61%	114 18%	280 43%	216 34%	34 5%	59%
6	課題や提出物は、期限を守って提出している。	85%	299 46%	246 38%	78 12%	21 3%	88%
7	部活動と勉強との両立に努力している。	83%	241 38%	289 45%	65 10%	43 7%	81%
8	明確な進路目標があり、将来の進学先や就職先に向かって努力している。	80%	238 37%	277 43%	103 16%	25 4%	78%
9	服装・容儀・交通規則などを、鹿南高生徒としての誇りを持って行動している。	92%	226 35%	364 57%	40 6%	14 2%	86%
10	命を大切にすることや他人への思いやり、障がい者などへの理解に努めている。	98%	423 66%	208 32%	13 2%	0 0%	97%
11	ボランティア活動や地域行事などに積極的に参加している。	53%	131 20%	207 32%	220 34%	85 13%	61%
12	友人、先生方とよくコミュニケーションをとっている。	96%	330 51%	289 45%	23 4%	2 0%	93%
		83.0%					81.5%

(2) 学科別・学年別調査結果

I (学校や授業に関すること) プラス評価の割合

No.	評価項目	普通	商情	体育	1年	2年	3年
1	充実した高校生活となるように様々な行事がある。	91%	94%	89%	92%	91%	92%
2	一人一人の進路希望に応じた進路指導に取り組んでいる。	90%	95%	95%	87%	93%	96%
3	就職や進学に関する様々な進路情報が提供されている。	85%	93%	86%	83%	87%	92%
4	交通安全や通学マナーの指導に積極的に取り組んでいる。	93%	96%	99%	90%	96%	97%
5	生徒の様々な悩みに親身になって相談にのってくれる。	86%	87%	88%	86%	85%	89%
6	いじめや不登校に積極的に対処しようとしている。	85%	83%	78%	81%	82%	86%
7	校則や学校のきまりは適切である。	40%	51%	63%	45%	36%	56%
8	授業内容を理解させるために、プリント作成等工夫している。	89%	87%	92%	92%	86%	89%
9	分かりやすい授業であり、かつ学力を伸ばしてくれる授業である。	86%	87%	85%	93%	80%	86%
10	日々の学習課題は学力を伸ばすのに適切な量である。	68%	86%	97%	83%	66%	83%
11	授業のレベルは適切で、授業の進み具合も適切である。	86%	88%	90%	92%	83%	87%
12	様々な活動において生徒の健康・衛生や安全に配慮している。	95%	96%	97%	95%	95%	97%
13	校内の施設や環境が整備されている。	97%	94%	95%	97%	92%	97%
14	部活動と勉強の両立が図れるように学習時間が確保されている。	79%	85%	73%	79%	71%	87%
15	部活動の活性化を目指して取り組んでいる。	93%	95%	99%	93%	94%	96%

II (自分自身に関すること) プラス評価の割合

No.	評価項目	普通	商情	体育	1年	2年	3年
1	生徒会活動やホームルーム活動、学校行事等に積極的に参加している。	90%	92%	88%	84%	92%	94%
2	授業は予習を十分にして受けている。	40%	40%	38%	35%	34%	48%
3	授業態度は真剣で、集中して受けている。	91%	93%	98%	93%	91%	94%
4	定期考査や課題実力考査の対策のために復習にしっかり取り組んでいる。	80%	82%	78%	77%	75%	88%
5	学習の計画を立てて、宅習時間を十分確保している。	64%	63%	47%	52%	56%	72%
6	課題や提出物は、期限を守って提出している。	77%	91%	97%	89%	74%	89%
7	部活動と勉強との両立に努力している。	78%	89%	87%	82%	82%	85%
8	明確な進路目標があり、将来の進学先や就職先に向かって努力している。	77%	84%	84%	68%	72%	95%
9	服装・容儀・交通規則などを、鹿南高生徒としての誇りを持って行動している。	87%	96%	97%	91%	89%	94%
10	命を大切にすることや他人への思いやり、障がい者などへの理解に努めている。	99%	97%	99%	98%	96%	99%
11	ボランティア活動や地域行事などに積極的に参加している。	50%	56%	54%	39%	53%	63%
12	友人、先生方とよくコミュニケーションをとっている。	96%	97%	96%	95%	95%	98%

(3) 結果分析と今後の対策

ア 全体

【Ⅰ 学校や授業に関すること】

- (ア)「4 交通安全指導 (95%)」「12 健康・衛生・安全 (96%)」が高く、ヘルメットの着用や自転車安全審査制度の実施など安心して通える環境が整っている。さらに、「13 施設・環境の整備 (95%)」「1 学校行事の充実 (92%)」も高く、学校生活の基盤など環境が整っていると感じており、満足度が高いことが窺える。
- (イ)「5 親身になって相談にのってくれる (87%)」は前年度 (79%) から 8pt 上昇しており、教師との信頼関係が適切に構築されていると考えられる。
- (ウ)「7 校則について」は肯定率 47%。前年度 (36%) より改善しているが、依然として半数以上の生徒が疑問を抱いている。「そう思わない (D 評価)」も 24% と高く、生徒と学校の意識に差があります。「校則は適切である」が 47%、特に 2 年生で 36% と低迷しているため、生徒の納得感を醸成する指導の方法や校則のあり方を検討する必要ある。生徒との校則について議論する場を設け、生徒の意見を吸い上げ「なぜそのルールが必要か」を教員が論理的に説明する機会 (意見交換会等) を増やす必要がある。
- (エ)「10 学習課題の量」は他項目に比べ低く、負担感が感じられる。Ⅱ 自分自身に関することの「2 予習 (40%)」や「5 学習計画 (61%)」が低く、特に普通科の課題負担感 (68%) が強く現れている。また、2 年生は課題提出率 (74%) 低下への対策をする必要がある。普通科は課題の「総量規制」を行う (教科間で調整し、週末に詰め込まない)。予習については、動画視聴や教科書を読むだけの簡単なものから習慣化させる。体育科や 2 年生については日常生活の記録による整理や学習計画表やカレンダーアプリの活用など計画立案の指導を強化し、部活動と勉強の両立スキルを具体的に教示するなど工夫をすることが必要である。

【Ⅱ 自分自身に関すること】

- (ア)「10 命を大切に・思いやり (98%)」「12 友人・先生とのコミュニケーション (96%)」「3 授業態度 (93%)」が極めて高く、素直で真面目な生徒である。
- (イ)「2 予習をしている」が 40% と極端に低く、「5 学習計画を立てている」も 61% に留まっており、授業は真面目に受けるが、家庭での自学自習が定着していない現状である。
- (ウ)「11 ボランティア活動等」が 53% と参加率が低くなっていた。社会参加への意欲喚起を促したい。生徒の優しさ (思いやり 98%) をもつ生徒達なので地域行事やボランティア情報を掲示板や SNS 等で生徒の目に触れる場所に積極的に掲示したり、部活動単位での参加を促したり啓発を行いたい。

イ 学科別

- (ア) 普通科は「10 学習課題の量は適切」が 68% と 3 学科で最も低く (他学科は 80~90% 台)、課題過多を感じている。「7 校則」への肯定感も 40% と最も低い。
- (イ) 商業・情報処理科はバランスが良いが、「2 予習」は 40% と低迷している。「9 服装・容儀」の意識は 96% と高い傾向にある。
- (ウ) 体育科は「3 授業態度 (98%)」「6 課題提出 (97%)」など規律面は非常に優秀だが、「5 学習計画」が 47% と全学科で最も低く、自力での学習管理を苦手としていることから学習方法等の手ほどきが必要である。

ウ 学年別

- (ア) 1 年生はまだ高校生活への適応段階であり、学習や規則への適応が厳しい生徒も多い傾向にある。「11 ボランティア参加 (39%)」が低い傾向にある。
- (イ) 2 年生は多くの項目で数値が他学年に比べ低い傾向にある。「7 校則は適切 (36%)」は全学年中最も低い。「6 課題提出 (74%)」も 1・3 年生 (約 90%) に比べ大幅に低く、学習意欲の低下が見られる。「中だるみ」の傾向にある。

(ウ) 3年生は進路実現に向け意識が高まり、「8 明確な進路目標 (95%)」「5 学習計画 (72%)」など高い数値を示している。本年度から自然学級となり、他者との比較ではなく個々の目標に向かって、集中して臨んだ結果であると推察される。

3 保護者アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 調査結果

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう 思わない	D そう思わない	前年度 プラスの 評価
1	本校が掲げる「文武両道～活力にあふれ、自己実現に向けて邁進する学校」は、目指す学校像として適切である。	95%	275 37%	438 58%	36 5%	3 0%	92%
2	学校は基礎・基本をしっかりと定着させる授業や、分かる授業に心がけている。	89%	150 20%	516 69%	80 11%	6 1%	85%
3	学校は学習指導において、一人一人に応じた個別指導に力を入れている。	70%	105 14%	417 56%	209 28%	20 3%	62%
4	学校は学力向上のために、十分な取組を行っている。	82%	135 18%	478 64%	126 17%	12 2%	77%
5	学校は就職指導や進学指導にしっかり取り組んでいる。	89%	213 28%	452 60%	76 10%	10 1%	83%
6	学校は自宅学習を十分確保するために、適切な量の課題を出している。	79%	130 17%	459 61%	143 19%	18 2%	74%
7	学校は進路に関する十分な情報を生徒や保護者に提供している。	80%	180 24%	425 56%	134 18%	14 2%	77%
8	学校は生徒指導にしっかり取り組んでおり、生徒の頭髪、服装、挨拶が良い。	93%	317 42%	381 51%	41 5%	11 1%	92%
9	学校ではいじめ・不登校等に対して、的確な対応がなされている。	89%	140 19%	522 70%	74 10%	7 1%	88%
10	学校では教育相談等、日頃から生徒をよく理解する態勢が整っている。	89%	181 24%	483 65%	73 10%	11 1%	83%
11	学校では部活動と学習の両立ができるよう、部活動の時間に配慮がなされている。	83%	171 23%	454 60%	103 14%	23 3%	77%
12	学校は交通安全や通学マナーの指導に十分取り組んでいる。	92%	299 40%	391 52%	53 7%	10 1%	94%
13	学校は様々な学校行事に取り組み、高校生活の充実を図っている。	94%	304 40%	405 54%	39 5%	5 1%	95%
14	学校は生徒の健康や安全に十分配慮した教育活動を行っている。	95%	239 32%	472 63%	37 5%	4 1%	94%
15	学校は様々な教育活動について、情報発信や広報に取り組んでいる。	89%	209 28%	457 61%	78 10%	6 1%	90%
		87.0%					84.2%

(2) 結果分析と今後の対策

ア 肯定的な評価の平均は 87.0%であり、昨年度の 84.2%から 2.8pt 上昇している。多くの項目で数値が改善しており、保護者の学校に対する満足度や信頼感が高まっていることが窺える。「3 個に応じた指導」が 70% (昨年度 62%) と 8pt 上昇しており、最も改善幅が大きかった。「4 学力向上の取組 (82%)」(昨年度 77%)・「5 就職・進学指導(89%)」(昨年度 83%)・「10 教育相談体制(89%)」(昨年度 83%) が高評価となっていた。

しかし、「3 個に応じた指導」が 70%で大幅に改善したとはいえ、依然として全項目の中で最も数値が低く、約 3 割の保護者が十分でないと感じている。AI ドリルや学習アプリなどの ICT

ツールを活用し、生徒一人ひとりの習熟度に合った課題配信を行うことで、家庭学習の質を高めるなどの工夫が必要である。

イ 「6 課題の量と自宅学習 (79%)」で「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計が22%あり、課題の量や質、あるいは家庭学習の定着に課題を感じている家庭が見られた。教科間での調整を行い、特定の日課題が集中しすぎないようにする(週末課題の適正化など)。単に量をこなす課題から、予習・復習に直結する課題へと質的転換を図り、生徒が主体的に学習に取り組むための工夫を行う。

ウ 「5 進路指導の取り組み」は89%と高い評価であるが、「7 情報の提供」は80%に留まっており、教師の指導には満足しているものの、具体的な情報が手元に届いていないと感じる保護者がいる可能性がある。保護者会に参加できない保護者のために、進路説明会の資料や動画を学校HPやClassiで共有したり、よりタイムリーな入試情報や進路イベント情報を提供したりするなど改善を図りたい。